

報道各位

ひたちなか市企画調整課

ひたちなか市移住・定住促進事業 **第3弾**

地域と学生のサステナブルな関係づくり

『ひたちなか BRIDGE プロジェクト』がスタートします

ひたちなか市では、大学等への進学により市外や県外で生活する学生が、ひたちなか市の魅力を再認識し、今後の地元での暮らしやリターン就職を考える機会として、また、市外出身の東京圏在住の学生には本市とかわりを持っていただくため、「ひたちなか BRIDGE プロジェクト」を開催します。

⇒ 第1 BRIDGEプロジェクトとは？

大学等への進学により市外や県外で生活するひたちなか出身学生と、地域活性化やまちづくりに関心をもつ都市部学生が一緒になって、ひたちなかの魅力と課題に向き合い、そして未来への一歩を描くための実践型プロジェクトです。地域と学生の架け橋となるプログラムで、SDGsと関連させ、ステナブルな関係づくり・まちづくりに積極的に取り組む地元企業や地域のキーパーソンが伴走しながら、市内でのフィールドワークを通して得た気づきをもとに課題解決に向けた提案を発表します。(次頁参照)

⇒ 第2 ひたちなか市の学生の多様な関係性構築

オンラインとオフラインを併用したプログラムにより、座学や検索だけではわからない部分は、実際にひたちなか市での滞在・宿泊を通して学びます。また、参加学生やひたちなか市で活躍する方との交流を通して、市と学生の多様な関係性を構築します。

⇒ 第3 継続的なつながり

11月に成果発表会を実施しますが、2月(予定)には参加学生と継続した「ゆるやかなつながり」をつくるため、都内で実践報告会・同窓会を開催し、東京圏での交流の場となるコミュニティ形成を目指します。

【開催日程】

	日程	内容	場所
DAY1	8/3	オリエンテーション	オンライン
DAY2・3	8/25・26	現地フィールドワーク	ひたちなか市
DAY4	9/7	企画検討ワーク	都内
DAY5・6	9~10月	自主フィールドワーク 地元企業インターン	ひたちなか市
DAY7	10/19	企画検討ワーク	都内
DAY8	11/4	成果発表会	ひたちなか市

対象

- ・市内出身で市外・県外在住の大学生等
- ・市外出身の都市部大学生等
- ※全日程参加可能な方。

参加費 無料

- ※交通費、飲食費等の実費負担あり(一部補助あり)

定員 10~12人程度

- ※応募多数の場合は、選考または抽選

申込 7月27日(金)までに
インターネット申込 ▶



◆本件に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

ひたちなか市企画調整課マーケティング推進室 担当：齊藤

TEL 029-273-0111 内線 1313 FAX 029-275-1877 E-mail:kikaku@city.hitachinaka.lg.jp


移住・定住に関する取組について、年間を通し継続してリリースさせていただきます(次頁参照)

プログラム内容

<div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <h3>観光コース</h3> <p>～海の豊かさを守ろう～</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>テーマ 阿字ヶ浦周辺の観光資源の見直し/ 一年を通じた関係人口を増やす仕掛けづくり</p> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>受け入れ 企業</p> <p>イパフォルニア・ベース/ 民宿 満洲屋 小池伸秋さん</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;">  </div> </div> <hr/> <div style="margin-top: 10px;"> <p>内容 阿字ヶ浦の民宿「満洲屋」の若旦那である小池さんは、2018年春に立ち上がった「イパフォルニア・プロジェクト」の発起人の一人。現在は海岸沿いの拠点「イパフォルニア・ベース」の運営を行いながら、イベントの開催やワーケーションといった新しい取り組みを展開。『100年先も豊かに暮らせる海・街をつくる』というビジョンの実現に向けて、1年を通じて人々が訪れ楽しめる場所にするために、企画を考え提案・実践します。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid #FF9933; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <h3>地域メディアコース</h3> <p>～住み続けられるまちづくりを～</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>テーマ 市内外の人に地元の魅力を知ってもらう ローカルメディアの立ち上げ</p> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>受け入れ 企業</p> <p>株式会社 NEXT・カワシマ 川嶋啓太さん</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;">  </div> </div> <hr/> <div style="margin-top: 10px;"> <p>内容 株式会社NEXT・カワシマは、ひたちなか市でLPガス供給事業を軸に家にまつわる事業を行っている創業64年目の会社。現取締役の川嶋啓太さんは自社事業の傍ら、「阿字ヶ浦ライブインシアター」や「SEABOX」をはじめ、多くの地域活動を仕掛けています。そんな川嶋さんが新たに、地域内外にひたちなかの魅力を発信するWEBメディアを立ち上げようとしています。その企画検討や取材・記事制作などに一緒に取り組みながら、地域でのメディアづくりを実践します。</p> </div> </div>
---	--


プログラム企画運営 常陸 frogs
菅原広豊さん

秋田県出身。震災をきっかけに働き方や生き方に疑問を抱き、2013年から会社員をしながら地域に関わる。2020年4月、人財育成プログラム「常陸 frogs」で独立。「誰もが才能や強みを発揮できる社会をつくる」がミッション。



学生メンター 戸板咲紀さん

ひたちなか市出身。都内の大学へ進学したものの、コロナ禍によりオンライン授業が定着したことをきっかけにUターン。「イパフォルニア・ベース」でコミュニティマネージャーを務めるほか、「SETTENプロジェクト」などを主催。



今後のひたちなか市からの移住・定住等に関するプレスリリース予定

日付		テーマ
第1弾	5/25	「いいとご発信隊」の結成について（隊員募集）
第2弾	6/24	新規「Welcome！ひたちなか お試し移住体験会」の開催について
第3弾	7/5	新規ひたちなかBRIDGEプロジェクトの開催について
第4弾	8月	新規SDGs×シビックプライド・シンポジウムの開催について
第5弾	10月	まちの魅力をInstagramで発信 「いいとご発信隊」の活動開始について
第6弾	10月	「お試し移住」の開催について
第7弾	11月	新規ひたちなかBRIDGEプロジェクト報告会について
第8弾	12月	シティプロモーションについて
第9弾	1月	新規ひたちなかファンの集い（仮称）の開催について

ひたちなか市では、令和3年度からスタートした、市の最上位計画「第3次総合計画後期基本計画」において、人口減少問題をまちづくりの総合的な課題として捉え、職・住・育が近接した持続可能なまちづくりを行うことにより、将来にわたって、より長く人口15万人を維持することを目標としました。（令和2年10月の人口は154,631人）

これを実現するべく、令和3年度より、移住・定住施策に重点的に取り組んでいます。